

2023 年度(2024 年 3 月期)決算 主な質問と回答

- Q. 2023 年度の受注高・売上高・営業利益が 10 月の修正計画を上回った理由は。
- A. 受注高は国内の EV・バッテリー向け投資が想定以上に強かった。売上高は部材確保と生産対応強化により生産量を拡大することができた。営業利益は売上高の上振れと原価率改善により上回ることができた。
- Q. 営業利益率が 2022 年度 8.3%から 2023 年度 10.6%に上昇した理由は。
- A. 装置事業の主に環境試験器の増収、および製品・サービスの値上げ効果により上昇した。
- Q. 調達難で製品リードタイムが長期化していたが、現在の状況は。
- A. 製品リードタイムについて、汎用性の高い標準製品は正常化。カスタム性の高い製品は一部調達が不安定ではあるがおおむね正常化している。
- Q. 2024 年度計画について、受注高を 2023 年度同等の 630 億円としている背景は。
- A. 国内を中心に EV・バッテリー分野の投資が引き続き好調と見ており、受注高は高水準を維持すると考えている。一方、中国・北米の経済減速を懸念しており 2023 年度同等としている。
- Q. 2024 年度計画について、営業利益率が 2023 年度比で 0.2 ポイントの上昇にとどまる理由は。
- A. カスタム性の高い製品の受注残高が増加しており、製品ミックスの想定から原価率を厳しく設定している。
- Q. 中期経営計画の上方修正について、2025 年度売上高目標を 2024 年度計画と同じ 650 億円としている理由は。
- A. 売上高 650 億円は過去にない高い水準であり、今後も EV・バッテリー分野を中心に高水準を維持すると認識している。一方、部材価格などコストが増加していることから収益性の向上が課題と認識しており、内部能力を高め収益力を上げることに注力していく考え。

本資料は、決算に関する主な質疑応答の要旨を記載したものです。

本資料に含まれる将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予測したものであり、実際の業績などは今後の様々な条件・要素により異なる場合があります。